

平成24年度 生徒研究成果発表会を開催しました

本年度本校で取り組んだ SSH 事業の経過報告と成果、生徒による研究成果を公開する「平成 24 年度生徒研究成果発表会」を、平成 25 年 2 月 10 日（日）午後にいせトピアを会場として行いました。

当日は、JST（科学技術振興機構）の担当主任調査官、本校の SSH 運営指導委員である大学関係者や企業の方々を来賓としてお招きするとともに、保護者や県内の高校教員に参加をいただき、開催することができました。

おもな内容は以下のとおりです。

[1] 来年度、個人研究やグループ研究を行う内容を、それぞれの生徒が英語でスピーチしました。

[2] 本年度の取組について、ポスター発表を行いました。

[3] SSC（スーパーサイエンスクラブ）の物理部門・化学部門・生物部門が本年度行った研究について、成果発表を行いました。

普段、大勢の前で発表する機会のない生徒にとっては、発表内容もさることながら大変いい経験になったのではないのでしょうか。どのようにプレゼンすれば自分の伝えたいことを的確に伝えることができるか、何をどのように表現すれば理解を助けることができるかなど、来年度に向けてそれぞれが課題を感じ、さらなる充実に向けて進んでいければと思っています。



[英語での 課題研究テーマ発表]

[講評より]

- 初年度から英語での発表は素晴らしい。
- 身近なテーマから課題が見つけれられている。
- クラブの成果発表は、本年度の成果を踏まえ、次年度の課題に結びつけるなど、流れがおさえられている。
- プレゼンの仕方に工夫が必要。シナリオを読むのではなく、何を訴えたいのかを明確にして、自分の言葉でプレゼンするとなお良い。

[SSC（スーパーサイエンスクラブ）研究発表]

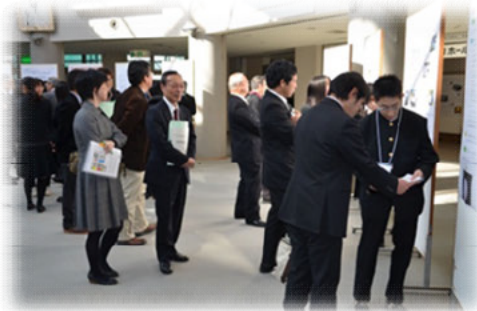
- 一枚のポスターに何をどのように表現すれば、訴えたいことが伝わるか、今後の学習に期待。

[参観者より]

- 小さな興味を、大きく育ててほしい。
- 貴重な体験ができると思います。この機会を生かしていただきたいと思います。

[参加生徒感想より]

- 自分の思っていることを、他の人に伝える難しさを実感した。自分達も分かっていないことが多かった。
- こんな経験は初めてでしたが、発表したことで、より“やる気”が出てきました。



[取組概要についてのポスター発表]



[SSC（スーパーサイエンスクラブ）研究発表]